

## やつしろ橋で 花見がしたい

やつしろ橋の会

会長 瀧川 賢 さん

(毘舎丸町)



昨年1月、阿蘇駅で「やつしろ橋の会」のメンバーが、JR九州の豪華寝台列車「ななつ星」の乗客にやつしろ橋（八代みかん）を振る舞いPRした。その同会の会長を務めるのが瀧川賢<sup>かたし</sup>さんだ。

やつしろ橋とは、ここ八代では高田みかんの愛称で知られており、紀州みかんのご先祖とされ、古事記にも記述されているほどである。しかし、そんな長い歴史を持つやつしろ橋は現在、環境省のレッドリスト（絶滅のおそれのある野生生物の種のリスト）に掲載されている。

瀧川さんがやつしろ橋と出会ったのは4年前。同会のメンバーからやつしろ橋に関する話を聞いたのがきっかけである。それから、やつしろ橋に関する歴史や特徴を調べていったという。その中で、やつしろ橋が絶滅危惧種に指定されていることを知り、『やつしろ橋を絶滅から守らなければならない』と強く思ったそうだ。絶滅から回避するには、やつしろ橋の苗を増やせばいいと思った。そして、苗を大切に育ててくれる人を募集することを考えたが、苗を増やす方法が分からなかったという。そん

なとき、園芸をやっている知人から、接ぎ木から苗を作るアドバイスもらった。接ぎ木をした苗を育て始めた当初は、多くの苗を無事に育て上げることができると予想されたが、1月24日の大雪で多くの苗を雪害で失った。一時はどうなるかと心配されたが、懸命な処置の甲斐もあり、大きな被害を防ぐことができた。

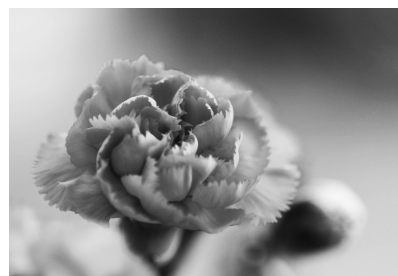
そして苗を育ててくれる人を募集したところ、市内外から108人もの人から申し込みがあり、予定数を大幅にオーバーしたため抽選会を行った。多くの人から申し込みがあり瀧川さんは驚いたそうだ。また、申し込みハガキには、やつしろ橋に対する思いやイラストが描かれており、「皆さんのやつしろ橋に対するお気持ちがとても伝わりました」と振り返る。今回、苗をもらえなかった人もいるが、来年は苗の数をさらに増やしたいと意気込んでいる。

こういった活動を10年程度続けていくことを考えており、近い将来、身近にやつしろ橋の木があることが自然なことになることを目標に日々活動を続けている。「やつしろ橋の香りがいつも匂い、実も美味しいなどの思い出が皆さんの心に響いてほしい」と瀧川さんは思いを巡らせた。

県内にやつしろ橋の株は100本もないと考えられている。実は、紀州みかんのご先祖であるやつしろ橋の原木は市役所の敷地内にある。瀧川さんは「市役所にあるやつしろ橋の原木に花が咲いたら、皆さんと花見をしたいですね」と笑顔で語った。



▲田中西町の福田さん宅で記念植樹を行う(左から)福田學さん、瀧川賢会長、中村博生市長(4/5)



2016.MAY

No.137

- 3 市民と市長とのテーマトーク
- 4 秀岳館球児 躍動
- 6 楽しく 安心して 子育てを
- 8 人権擁護委員
- 9 空き家バンクに登録しませんか
- 10 安心・安全な道路に
- 11 八代農業振興地域整備計画
- 12 まちづくりを支える 固定資産税
- 14 平成28年度 八代市職員募集
- 15 暮らしの情報
- 16 市民カレンダー
- 18 暮らしの情報
- 27 広告
- 28 まちのわだい
- 31 伝言板
- 32 ふる郷 愛鏡祭  
松浜軒／松井文庫の至宝

### 今月の表紙



第88回選抜高校野球大会で春夏通じて初のベスト4入りを果たした秀岳館高校。毎試合、アルプスタンドからはナインに対する声援が送られました。また、応援団賞の優秀校に選ばれました。